

7 駐車場

■基本的な考え方■

高齢者や身体障害者等が自己の日常生活の外出手段として最も便利なものが自動車である。したがって、どの建築物にも車いす使用者が利用できる駐車場を整備する必要がある。また、駐車場から主要な出入口まで車いす使用者に配慮した通路を整備する必要がある。

整備基準	目標となる指針
<p><b>7 駐車場</b></p> <p>1 駐車場（共同住宅等に設けられるものを除く。）には、次に定める基準に適合する車いす使用者用駐車施設を設けること。</p> <p>(1) 車いす使用者用駐車施設は、当該車いす使用者用駐車施設へ通ずる1の項〔出入口〕に定める構造の出入口から当該車いす使用者用駐車施設に至る経路（2に定める構造の駐車場内の通路又は8の項〔敷地内の通路〕（1）から（4）までに定める構造の敷地内の通路を含むものに限る。）の距離ができるだけ短くなる位置に設けること。</p> <p>(2) 幅は、3.5メートル以上とすること。</p> <p>(3) 駐車場である旨及び車いす使用者用駐車施設である旨を見やすい方法により表示すること。</p> <p>2 車いす使用者用駐車施設へ通ずる出入口から車いす使用者用駐車施設に至る駐車場内の通路は、8の項〔敷地内の通路〕（1）から（4）までに定める構造とすること。</p>	<p><b>7 駐車場</b></p> <p>1 不特定かつ多数の者が利用する駐車場には、次に定める基準に適合する車いす使用者用駐車施設を、当該駐車場の全駐車台数が200以下の場合にあっては、当該駐車台数に50分の1を乗じて得た数以上、当該駐車場の全駐車台数が200を超える場合にあっては、当該駐車台数に100分の1を乗じて得た数に2を加えた数以上設けること。</p> <p>(1) 車いす使用者用駐車施設は、当該車いす使用者用駐車施設へ通ずる1の項〔出入口〕1及び2に定める構造の出入口から当該車いす使用者用駐車施設に至る経路（2に定める構造の駐車場内の通路又は8の項〔敷地内の通路〕（1）から（5）までに定める構造の敷地内の通路を含むものに限る。）の距離ができるだけ短くなる位置に設けること。</p> <p>(2) 幅は、3.5メートル以上とすること。</p> <p>(3) 乗降のための部分の幅は、1.4メートル以上とし、当該部分の床面を塗装すること。</p> <p>(4) 駐車場である旨及び車いす使用者用駐車施設である旨を見やすい方法により表示すること。</p> <p>(5) 床面又は地面は、水平とすること。</p> <p>(6) 表面は、粗面とし、又は滑りにくい材料で仕上げること。</p> <p>2 車いす使用者用駐車施設へ通ずる出入口から車いす使用者用駐車施設に至る駐車場内の通路は、8の項〔敷地内の通路〕（1）から（5）までに定める構造とすること。</p>

整備基準の解説

●整備の対象  
駐車場を設ける場合には、一以上の車いす使用者用駐車施設を設ける。

○「車いす使用者用駐車施設へ通ずる出入口」は建物内出入口と駐車場出入口の両方を含む。  
建物出入口から車いす使用者用駐車施設へ通ずる経路上には敷地内の通路があり、駐車場出入口から車いす使用者用駐車施設へ通ずる経路上には駐車場内の通路がある。これらの通路を通行する視覚障害者には運転手等の視覚障害者以外の者が必ず同行するため、敷地内の通路における視覚障害者対応について定めた8の敷地内の通路の(5)の規定は適用しない。

項 目	解 説
1(1)位置	○建物の出入口にできるだけ近い位置(屋内駐車場ではエレベーター入口付近など)に、身体障害者が利用できる車寄せと駐車場スペースを設ける。 ⇒図 1 参照
(2)幅	○車いす使用者用駐車施設は、自動車のドアを全開した状態で車いすから自動車へ容易に乗降できる幅350cmを確保する。幅は、一般用駐車スペース(210cm)に車いすが転回でき、介護者が横に付き添えるスペース(幅140cm)を見込んだものである。 ⇒図 2 参照
(3)標示	○車いす使用者用駐車施設である旨の表示は、車いす使用者用駐車施設と一般用駐車場とを区分するために必要であり、車体用スペース床面に「国際シンボルマーク」を塗装表示するか、または車止め付近に標識を設けることとし、運転席からも判別できる大きさとする。 ⇒図 3 参照

目標となる指針の解説

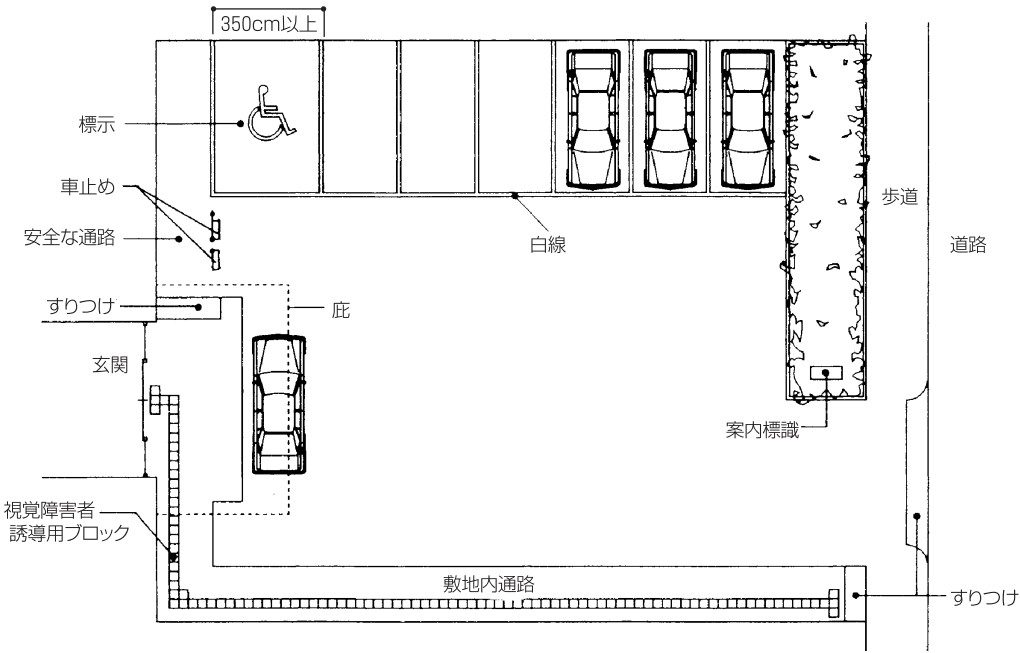
●整備の対象  
不特定かつ多数の者が利用する駐車場を設ける場合には、全駐車台数に応じた車いす使用者用駐車施設を設ける。  
全駐車台数が200以下の場合:全駐車台数×1/50以上を車いす使用者用駐車施設とする。  
全駐車台数が200を超える場合:全駐車台数×1/100+2以上を車いす使用者用駐車施設とする。

項 目	解 説
1(3)幅	○車いす使用者用駐車施設の車いす使用者乗降用スペース(幅140cm以上)の床面又は地面等は、斜線で塗装表示する。

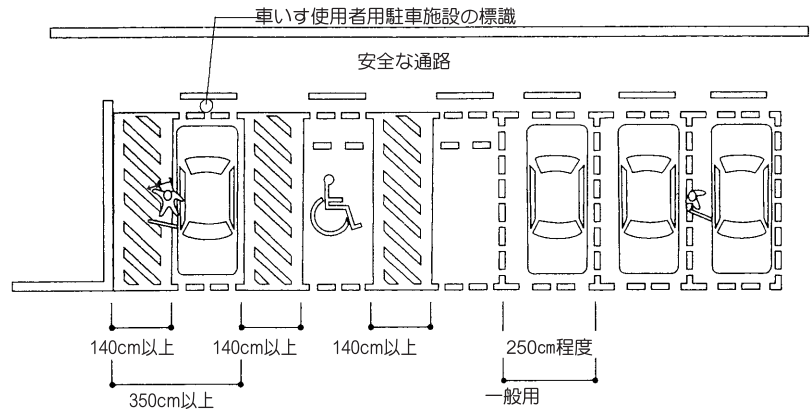
配慮事項

項 目	解 説
乗降用スペース	○車いす使用者用駐車施設の車体スペースの両側に車いす使用者乗降用スペース(幅140cm以上)を設ける。 ⇒図 2 参照
屋根又はひさし	○車いす使用者用駐車施設及び当該車いす使用者用駐車施設から主要な出入口へ通ずる通路に屋根又はひさしを設ける。
標識	○駐車場の進入口には、車いす使用者用駐車施設が設置されていることがわかるように標識を設けることとし、駐車場の入口から車いす使用者用駐車施設に至るまでの誘導用の標識を設ける。 ⇒図 4 参照

車いす使用者用駐車施設配置例 (図1)



両側に乗降用スペースを設けた例 (図2)



車いす使用者用駐車施設の標識の例 (図3)



駐車場の案内標識の例 (図4)

